

6. 女性経営者の先駆け

ヤオハンというスーパーマーケットの名前を聞いたことがありますか。今は他の会社を買収されて、ヤオハンというスーパーマーケットはありませんが、1970 年代から 90 年代にかけて日本はもちろんのことシンガポール、香港、アメリカなどでスーパーマーケットを経営していた日本の会社です。和田カツというのは、夫和田良平とともにこのヤオハンを創業した女性です。

カツは、明治 39 年に「八百半」という大きな青果商の長女として生まれました。けれど、カツは実家の商売が嫌いで、会社員と結婚したいという夢を持っていました。その頃は、女性が勉強するものではないと考えられていた時代でしたが、会社員と結婚するためには、学歴が必要だと考えたカツは、両親をなんとか説得し、高等小学校を卒業した後も女学校に進学して勉強を続けました。

会社員との結婚を希望していたカツですが、結局両親には逆らうことができず 20 歳の時、店の店員だった良平と無理矢理結婚させられてしまいました。結婚した二人は独立して、「八百半商店」という小さな店を開業しました。店といっても、露店に過ぎない店でしたが、カツは店を持った以上は、店を大きくしてみせるという目標を持ち、自分の衣服さえ買わずにせっせと働きました。けれど、カツは夫が病気になったあげく、子供の死という不幸にも見舞われてしまいます。その上、20 年かけて作った店を火災によって失ってしまったりもしました。カツは様々な困難にあったものの、そんな困難にも負けるものかと必死に働き、もしまえのアイデアで店をどんどん大きくしていきました。女性が社会進出するのが難しかった時代に会社の経営に乗り出したカツは日本の女性経営者の先駆者だと言えます。

かなり以前に放送されたテレビドラマの「おしん」は、日本やアジアで非常に人気がありましたが、この主人公の「おしん」のモデルの一人が和田カツだと言われています。ドラマの「おしん」を見たり、カツの自伝「わが青春」を読んだりすると、カツの考え方や苦勞が分かって、あなたが会社を経営する時の参考になるかもしれませんね。

単語リスト：

買収（ばいしゅう） Thu mua, mua lại
香港（ほんこん） Hồng Kông
創業（そうぎょう） Thành lập
火災（かさい） Hỏa hoạn
必死（ひっし） Quyết tâm, liều mạng

無理矢理（むりやり） Miễn cưỡng, cưỡng chế,
bắt buộc
露店（ろてん） Gian hàng, quán hàng
困難（こんなん） Khó khăn
見舞う（みまう） Hứng chịu, ập đến
先駆者（せんくしゃ） Người tiên phong